

Uのてーす

日野からのお知らせ

Hino Today



異常気象時は運行中止も視野に 輸送時は最新の気象情報を確認し、適切な判断を

ゲリラ豪雨や台風などによる影響は、輸送の安全確保に支障をきたしかねません。ドライバーの命と大切な荷物を守るために、出発の前日から当日にかけて気象の最新情報を確認しましょう。そして国から示された「異常気象時における措置の目安」をもとに、着荷主・発荷主などとも連携を図りながら輸送の可否判断を行ってください。

異常気象時における措置の目安※

※輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではありませんが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じず輸送したことが確認された場合には、行政処分が行われます。



降雨時

1時間あたりの降水量**50ミリ**以上の場合

→土砂崩れや河川の氾濫などに
巻き込まれるリスクがある！

事故に遭う
可能性があり
輸送は
適切ではない！



暴風時

風速**30メートル**以上の場合

→強風で走行中に
横転する可能性がある！

異常気象時における
措置の目安について
詳しくはこちら



出典：国土交通省 自動車局貨物課長通達、公益社団法人 全日本トラック協会「ドライバーの命と大切な荷物を守るために！異常気象時は運行中止も視野に…」